

新型コロナウイルス感染症防止対応策

(JSBB 感染予防対策ガイドラインをベースに作成しております)

1	各自球場に入る際は、必ずマスクを着用すること。 試合時以外で人との距離を確保できない場合は、必ずマスクを着用すること。
2	試合前 2 週間における以下の状態の者は参加は不可。 <ul style="list-style-type: none"> ・平熱を超える発熱 (37 度 5 分以上) ・咳 (せき)、喉 (のど) の痛みなどの風邪症状がある場合 ・だるさ (倦怠感)、息苦しさ (呼吸困難) ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触者の有無 ・身近な人に感染が疑われる人と接触した場合 ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航 または当該在住者との濃厚接触がある場合
3	試合当日ベンチ入りする全員が、自宅にて必ず検温を実施すること。
4	試合当日 37 度 5 分以上の発熱がある場合は、球場敷地内に立ち入らないこと。
5	ベンチ内でもなるべくマスクを着用することを推奨する。 熱中症予防に配慮するとともに、次試合までの待機の際は人との距離を確保すること。
6	試合開始時および終了時の整列は、ホーム上では行わずベンチ前に整列すること。
7	ベンチ内では、大きな声での会話および声援等は極力控えること。 全選手がベンチ内に留まらず、ベンチ外も利用し選手同士の距離を確保すること。 (通常ベンチ外は認められないが、特例として認めることとする)
8	ベンチ内に設置のアルコール等にて手指の消毒をこまめに行うこと。
9	球場敷地内での唾や痰を吐く行為は、絶対に行わないこと。
10	試合中マウンドに集合する際は、グラブで口元を覆い会話すること。
11	肌が触れ合う ハイタッチ等は、行わないこと。
12	タオルの共用は、しないこと。
13	ジャグタンクでドリンクを飲む場合、コップは共用しないこと。
14	ドリンク等の飲み残しは、容器ごと持ち帰ること。
15	試合前後のミーティングでは必ずマスクを着用、あるいは選手同士の距離を確保し短時間で行うこと。
16	大会期間中に新型コロナウイルス感染症陽性者が出た場合は、必ず東東京中学生野球連盟に報告すること。
17	大会参加後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症陽性者が出た場合は、必ず東東京中学生野球連盟に報告すること。
18	応援者、観戦者は必ずマスクを着用すること。また、声を出しての応援は、感染予防のため控えること。 (球場施設管理者が認めない場合は無観客とする)
19	大会参加者に新型コロナウイルス感染症陽性者が確認された場合、参加者名簿を関係機関に公表する場合がある。
20	大会期間中に緊急事態宣言等が発出された場合は、大会および活動を中断する。
21	大会期間中、新型コロナウイルス感染症陽性者が出た場合、大会開催を中止する場合がある。